

## マタイの福音書 聖書講解シリーズ

### 1)メシヤの系図

マタイ 1:1-17

2018.12.2 HKJCF

1

## 概観

イエス様は正当的な救い主(メシヤ)としてお生まれになったことをマタイの系図を通して学びたい。

### アウトライン

1. アブラハムの子孫
2. ダビデの子孫
3. イエス・キリスト

2

### 1. アブラハムの子孫

- 1) マタイの福音書: マタイの読者; 払拭したい疑問; 作者の意図と文章のこだわり。
- 2) 系図の大切さ: 王位の正当性; ダビデ王に対する注目(1:6); 14代(4+6+4)×3の意味。ダビデ王朝の到来、崩壊、再建。
- 3) 五人の女性: ①タマル(V3) ②ラハブ(V5) ③ルツ(V5) ④ウリヤの妻(V6) ⑤マリヤ(V16)。
- 4) 全人類の救い: 四人の女性の出身; アブラハム契約の成就(創世記12:1-3)。

3

### 2. ダビデの子孫

- 1) ダビデ王朝の存続: ソロモン以降の王; 信仰継承の大切さ; 罪を通して働かれる。
- 2) バビロン捕囚: 一番のショック(V11); 崩壊した王朝の回復(IIサムエル記 7:12-13)。
- 3) ユダ族: ヤコブの祝福; ユダ(V2)に対する注目(創世記 49:9-10); 神の選びを見出す。
- 4) その兄弟たち: 思い起こさせたい出来事がある(V2, V11)。エジプトとバビロンでの捕囚生活⇒背信と神の裁き。

4

### 3. イエス・キリスト

- 1) イエス: 「主は救われる」; 使命と役割が与えられている誕生⇒十字架の御業。
- 2) キリストという称号: 「メシヤ」、救い主(V1, V16)という概念; 慰め、希望と夢を与える。罪からの救い⇔政治的な圧迫からの救い。
- 3) マリヤの夫ヨセフ: 王位の法的な系図⇔血のつながった系図(V16); ヨセフの役割。
- 4) マリヤからの出産: ヨセフが父親でないことを案じている; 1章の残りに説明する。

5

## 適用

- 1) 罪人の救い主: (セルフイメージ)  
四人の女性や罪深い王様たちを通してお生まれになったことを思い出すように。
- 2) 全民族の祝福: (祝福の規模)  
イスラエルだけでなく、全人類を祝福する救い主であることを思い出すように。

6